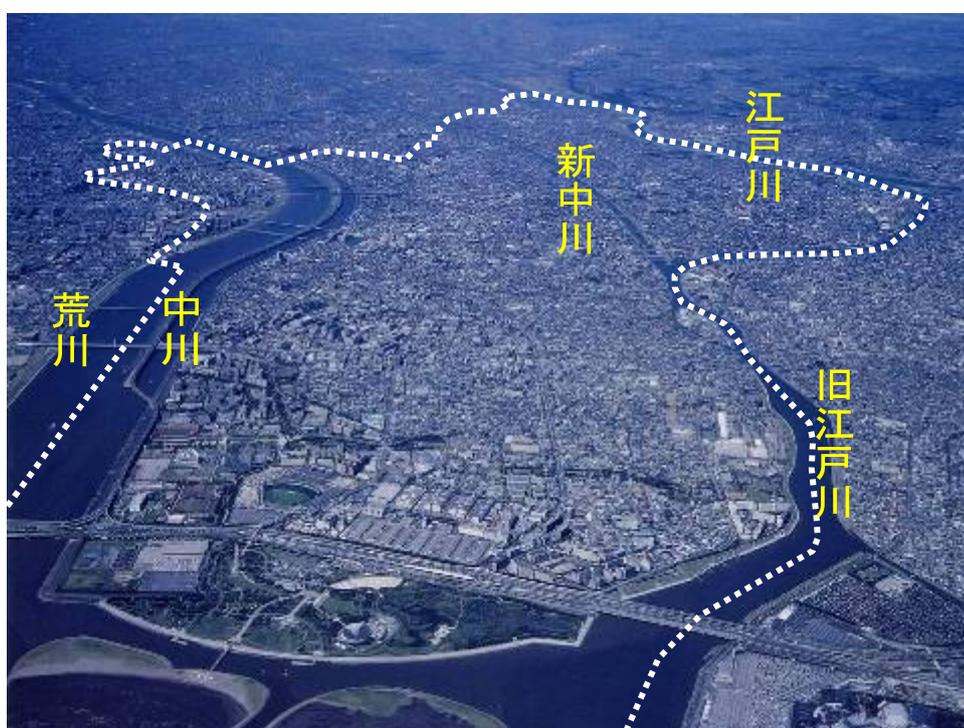


江戸川区スーパー堤防整備方針(概要)



(大河川と海に囲まれたゼロメートル地帯 江戸川区)

平成 18 年 12 月

江戸川区

堤防に守られている都市 江戸川区

江戸川区は、東京都の東端部に位置する人口が約66万人の都市です。

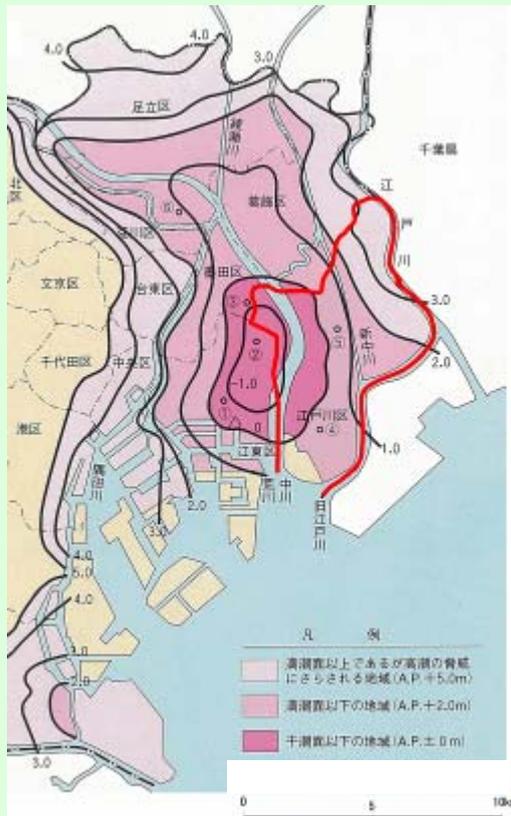
また、その生い立ちは、荒川や江戸川の大河川等と東京湾に囲まれ、7割がゼロメートル地帯にある地勢から、水害との闘いの歴史でした。

なかでも、大正6年には高潮により240人の命が奪われ、戦後のカスリーン台風、キティ台風では、区の大半が水没する壊滅的な被害を受けています。

その後、精力的に行われた治水事業により、堤防強化がはかられてきました。

最近では、大きな水害を受けていませんが、江戸川区を囲む江戸川や荒川、東京湾などの堤防が区民を守る生命線であることは、変わりません。

【東京低地の地盤高平面図】



(出典：東京都)

戦後～高度成長期にかけ、地下水の汲み上げにより急激に地盤が沈下（最大で2m40cm）しました。そのため、江戸川区の約7割が満潮位以下の低い地盤になりました。



カスリーン台風では、堤防が決壊し、濁流の海になりました。人々は、新小岩・小岩間の高台の総武線上を市川方面に避難しました。

<江戸川区>

- ・浸水戸数：30,506戸
- ・被災者数：132,991人

キティ台風では、高潮により、江戸川区、江東区、墨田区が、深刻な被害を受けました。

<江戸川区>

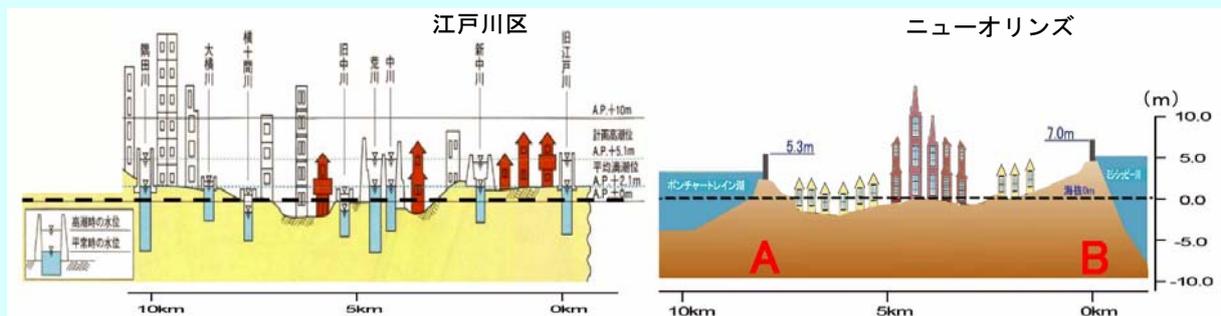
- ・浸水戸数：12,545戸
- ・被災者数：62,324人



平井駅（南口）

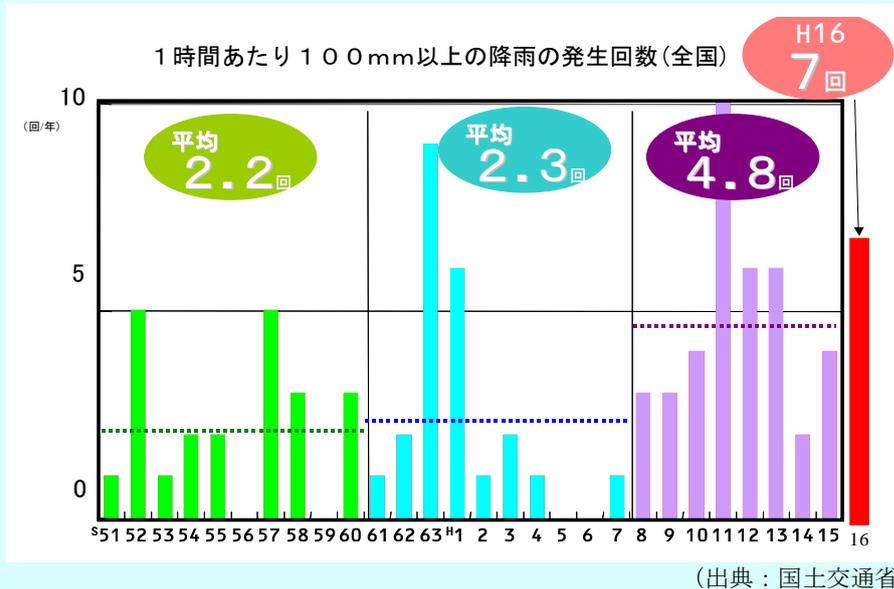
○平成17年、ニューオリンズでは、ハリケーン「カトリーナ」により、壊滅的な被害（被災者数百万人、死者約1,300人）を受けました。江戸川区の地形はニューオリンズと似た播り鉢状の低地で、一旦堤防が決壊すると同様な被害になります。

また、江戸川区は、大水害の時に、避難できる高台がありません。



「異常気象」「大地震」により、いつ大水害にあうかわかりません

- ◆近年の異常気象や地球温暖化による海面上昇により、今までの予測をはるかに超える洪水や高潮の発生が現実的になってきています。



1時間あたり100mmを越える集中豪雨が、近年、多発しています。

平成16年の台風及び集中豪雨による被害

全国各地で、予測をはるかに超えた洪水により堤防が決壊し、甚大な被害が発生しています。



福井豪雨(平成16年7月)



台風23号・兵庫県豊岡市(平成16年10月)



(出典：国土交通省)

- ◆地盤が軟弱な江戸川区では、液状化しやすい地域が多く分布しています。大地震により堤防の崩壊を含め、甚大な被害が予想されています。



阪神・淡路大震災による淀川の堤防の崩壊
(平成7年)



(出典：国土交通省)

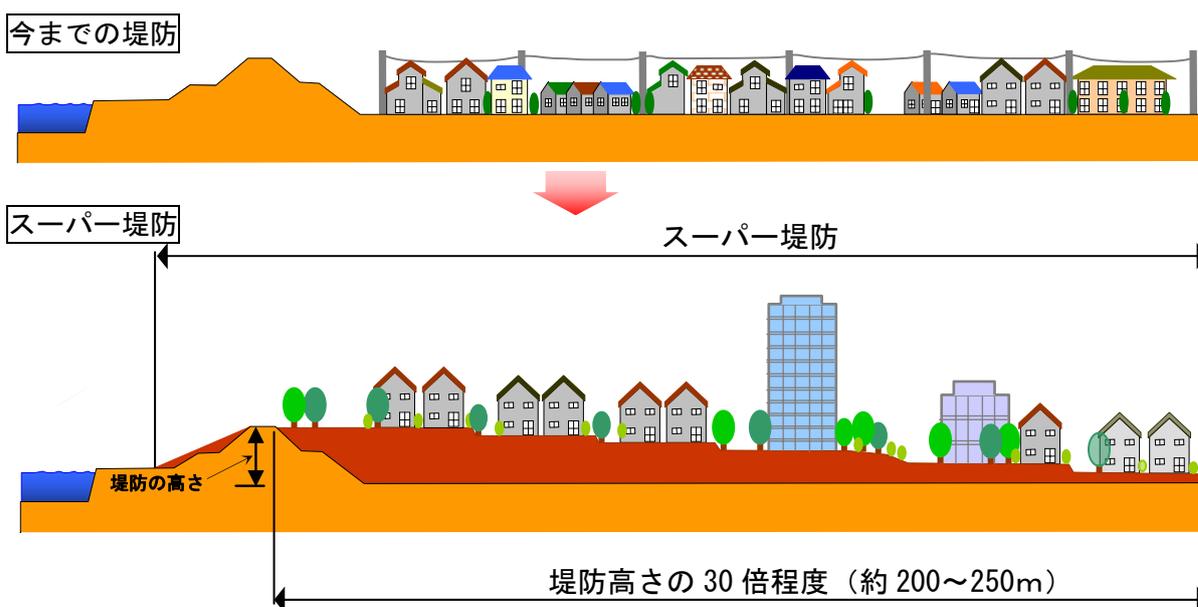
このような予測をはるかに超える洪水や高潮、大地震に対して
しっかりと備えておくことが必要です

- 現在の堤防は、これまで発生した洪水や高潮、地震をもとに整備が進められています。しかし、予測をはるかに超える洪水や高潮、大地震の発生にも対応できる堤防が必要です。
- 江戸川区には、急に押し寄せる高潮による洪水などに対して、緊急に避難できる高台が必要です。さらに、水害時に安全な避難路となる強固な堤防が必要です。
- 河川敷の広域避難場所は、河川が増水していると使用できません。避難・救援の拠点は高いところに必要です。

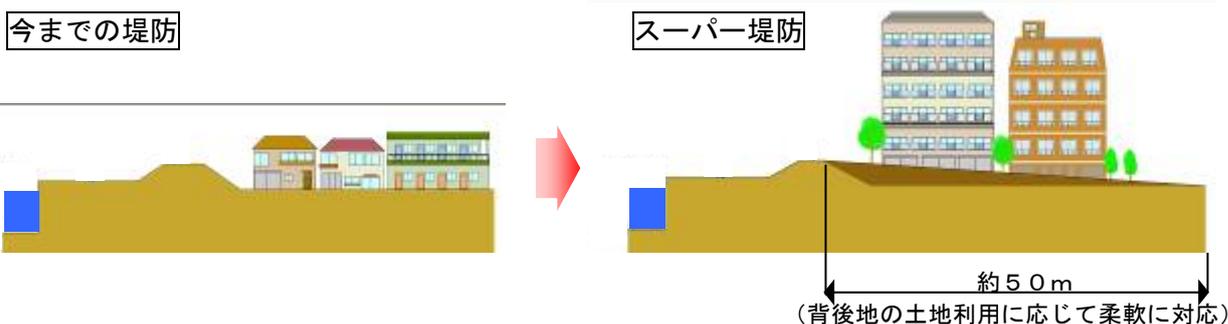
そこで、大水害の危機から、区民の生命財産を守るのがスーパー堤防です

- ・スーパー堤防は、一般の堤防の高さの約30倍の幅、または約50mの幅をもつ強固な堤防です。さらに、災害時の避難場所になります。

【江戸川・荒川・中川のスーパー堤防】



【旧江戸川・新中川のスーパー堤防】



(出典：東京都)

スーパー堤防が整備されれば、

- ①河川の水が堤防を越えても壊れません
- ②堤防に水が浸透しても壊れません
- ③地震にも強い堤防になります

①河川の水が堤防を越えても壊れません

今までの堤防



スーパー堤防



スーパー堤防では、洪水が堤防を越えても緩やかに流れるので、堤防は壊れません

②堤防に水が浸透しても壊れません

今までの堤防



スーパー堤防



スーパー堤防では、長時間 水が浸透しても、幅の広い堤防なので、壊れません

③地震にも強い堤防になります

今までの堤防



スーパー堤防



スーパー堤防では、必要に応じて軟弱地盤を改良して強い地盤をつくるので安心です
地震時にも強い堤防になります

●スーパー堤防は、沿川地域のまちづくりとの一体整備が必要です。そのためには、沿川地域の皆様の御協力が必要です。

江戸川区は、スーパー堤防の整備とともに、沿川地域の課題を解決しながら、安全・安心のまちづくりを進めます

スーパー堤防の整備により、

- 強固な水防のまちになります。
- 防災上の拠点「防災コア」になります。
- 防災性の高い魅力的なまちになります。
- 川が身近にある暮らしを満喫できる特色のある水辺空間になります。



小松川地区のスーパー堤防

スーパー堤防整備による
強固な水防のまちづくり



妙典地区のスーパー堤防

沿川まちづくりの
基本方針

スーパー堤防と連携した
防災上の拠点「防災コア」づくり

スーパー堤防と併せて
市街地の防災性を向上させるまちづくり

川が身近にある暮らしを満喫できる
特色のある水辺空間づくり



スーパー堤防上の小松川千本桜

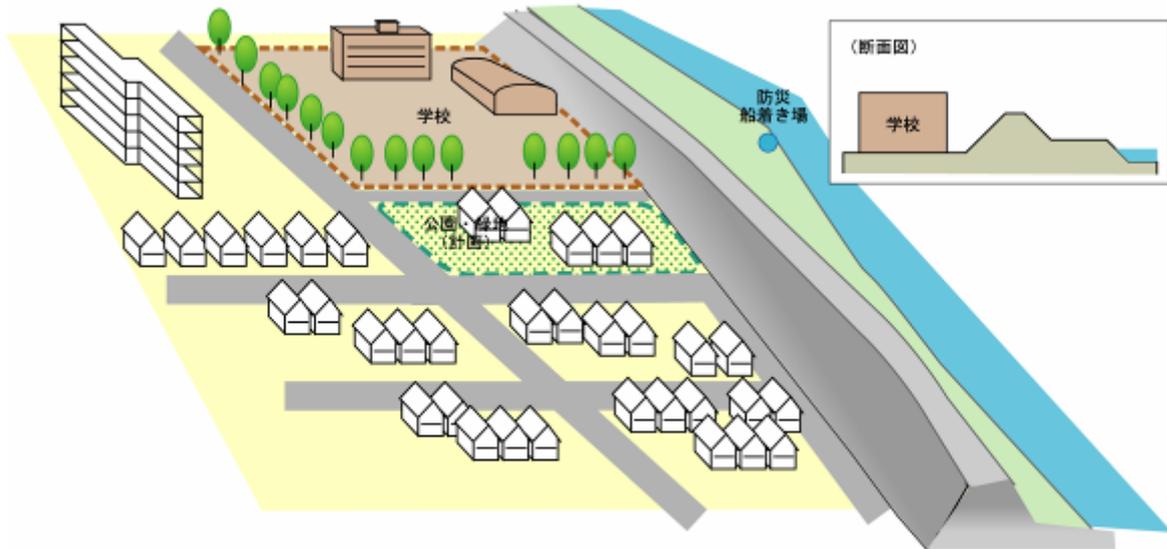


妙典地区のスーパー堤防

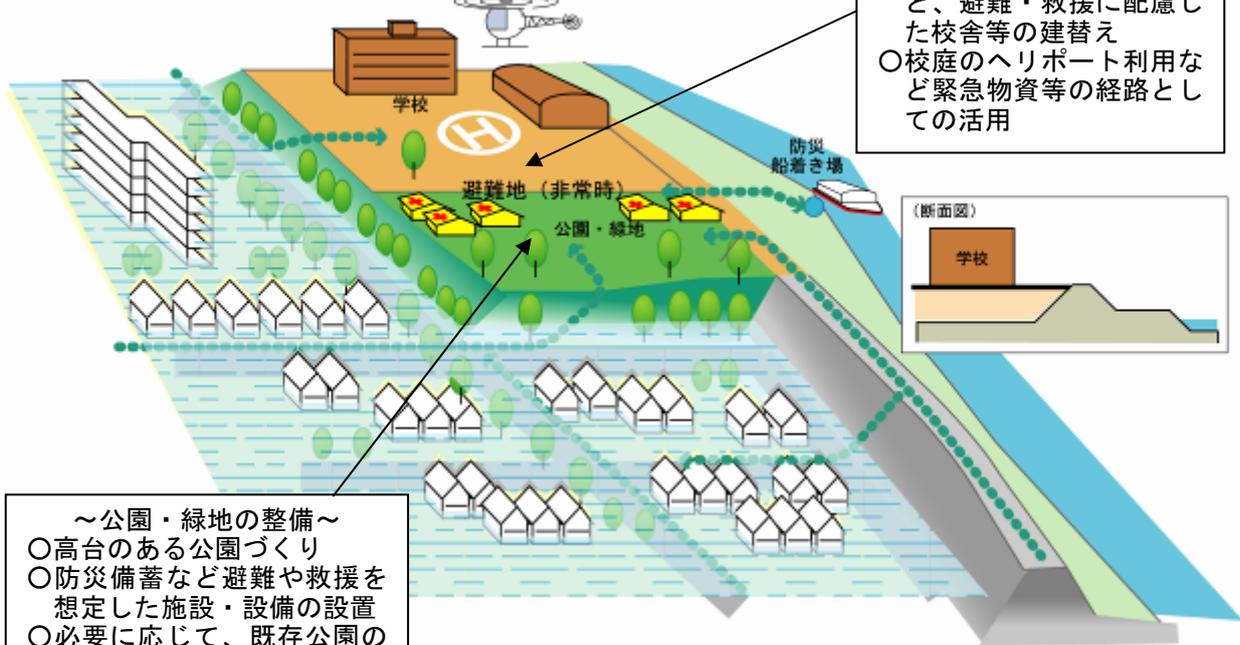
スーパー堤防の整備によって、身近な避難所(防災コア)ができます

- スーパー堤防は、短区間の整備であっても、水害、震災などの災害に対応できる安全・安心の避難・救援の場(防災コア)になります。
区立小・中学校や公共施設、公園などの身近な施設を活用した防災コアは、身近で災害に強い避難所になります。

<現状>



<整備実施後の水害時>



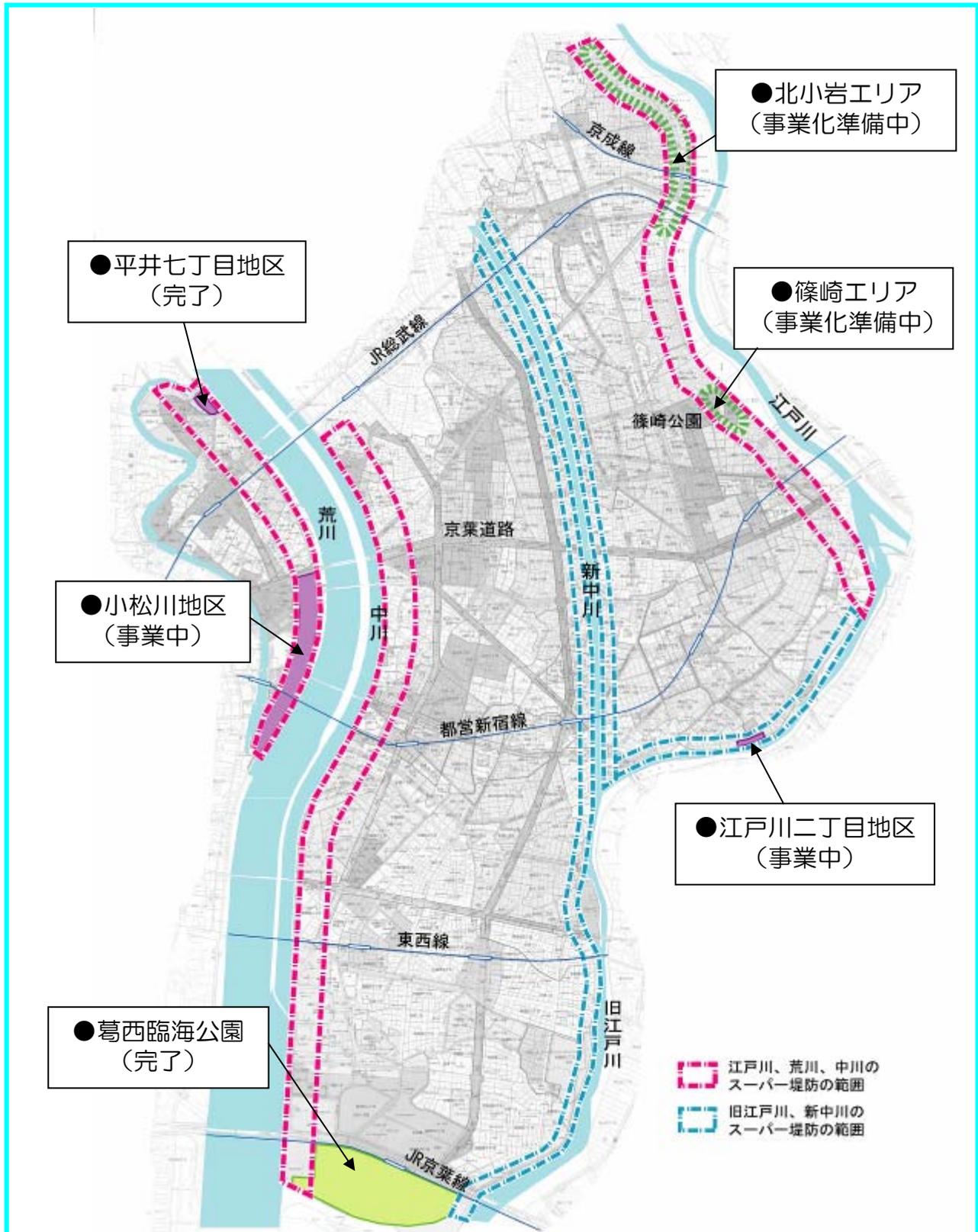
- ～学校の建替え～
- 学校敷地での高台づくり
 - 防災備蓄や災害時医療など、避難・救援に配慮した校舎等の建替え
 - 校庭のヘリポート利用など緊急物資等の経路としての活用

- ～公園・緑地の整備～
- 高台のある公園づくり
 - 防災備蓄など避難や救援を想定した施設・設備の設置
 - 必要に応じて、既存公園の移転・再配置による整備を検討

スーパー堤防は、全沿川の整備を目指し、順次進めていきます

- 地盤が軟弱、低地などの水害の危険性が高いところ
- 木造密集市街地などで、災害危険度の高いところ
- まちづくり事業の計画があるところ
- 水害に強い高台の避難場所が必要なところ

に、配慮をして整備を進めていきます。



江戸川区スーパー堤防整備方針（概要）

平成18年12月

- 編集・発行
- ・江戸川区 土木部 計画課
〒132 - 8501 東京都江戸川区中央1 - 4 - 1
電話03（5662）8389
 - ・江戸川区 土木部 沿川まちづくり課
〒132 - 8501 東京都江戸川区中央1 - 4 - 1
電話03（5662）8433